

## 2020年度 びわ湖トラスト親子環境学習講座 「湖岸調査」実施報告書

後援： 大津市教育委員会、草津市教育委員会  
 協賛： 公益財団法人平和堂財団  
 概要： 岸の水草採取・カヌーを使いヨシ群を間近で観察、プランクトン観察を行う。

### プログラム

実施日			8月4日(火)
場所			オーパルオブテックス株式会社(雄琴)
参加者			13組(32名) 子供15名、保護者17名
スタッフ	びわ湖 トラスト	理事	1名
		事務局	2名
	ボランティア		2名
	OPAL		4名
行程			カヌー体験・プランクトン観察(2班交互に行う)

今年度はコロナウィルス感染症対策として、定員を減らし、2班制にした。毎年行っていた外来魚調査・水草採取とそのパウチ作成を辞め、カヌー体験とプランクトン観察のみとした。プログラム内容を2つにすることにより昼食前に終了させた。受付はプールサイドで検温や症状を確認し、開校式はテラスで行う。ソーシャルディスタンスを保ち、スタッフの注意事項などを聞いた後で2班に分かれてプログラムを開始。

カヌー体験では、陸でパドルの漕ぎ方、座った時の体制などを実践。隣や前後の方に当たらない位置に立つ。パドルの向きを確認し、右・左と漕ぐ。かなりの暑さの為、時々水分を取り、万が一転覆した時の対処方法も聞いてから湖にカヌーを運ぶ。殆どの方が戸惑うことなくスタッフが見守る中、沖へと漕ぎだした。



受付は検温実施



まずは陸で漕いでみる



2人、もしくは3人で運ぶ



カヌー体験スタート



栈橋の向こう側で(カヌー体験)

プランクトン観察では、まず採取方法を学ぶ。プランクトンネットを使って実際にネットの投げ方を説明。参加者同士の距離の取り方が難しかったが、各々が見やすい角度から見学する。

続けて部屋に戻って顕微鏡を使って観察を行った。

2名1テーブルとし、親子で体験。プランクトン研究をしている高校生親子に来ていただいたので、名称のわからないものについては随時質問を受け付け、子供達は顕微鏡でじっくり観察しながらプランクトンをスケッチしていた。



プランクトン採取

保護者の方も久々の観察は楽しかった様子で、熱心に新しいプランクトンがないかを探したり、親子で見つけるたびに質問されている方もいらっしゃった。



親子で観察



顕微鏡で映ったプランクトン



今回見えたプランクトンの1つ

いつもに比べると少人数の体験で、プログラム内容も2つに減ってしまったが、熱中症になることもなく全員が無事で、楽しく充実した時間を過ごしていただけたと思う。

### コロナウィルス感染症についての影響と対策

- コロナウィルス感染症の拡大に伴い、感染を懸念される方からの辞退があった。
- 参加人数の縮小を行い、3班制から2班制にすることでプログラム内容を減らした。  
(募集人数：30組60名→20組40名)
- 抽選結果郵送時にコロナウィルス感染症対策に関する専用の案内を発送。事前の状態確認など自身で確認していただいた。
- 当日は受付時に全員検温。(受付時スタッフはフェイスシールド着用)
- 全員が集まる開校式などは屋外でとし、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施することに努めた。
- 消毒液を準備。入室時は手指の消毒を行っていただき、プランクトン観察時は班が入れ替わる前にテーブルや椅子、顕微鏡などを消毒した。
- 顕微鏡観察時、手袋を自身で用意いただき(本人の意思で着用)、直接接触れることを避けていただいた。
- プランクトン観察の部屋は窓を開け、換気に努めた。